

## IV. 事務局長・主任研究員からのひとこと

### 1. 日本一周車中泊の旅

神門 正雄 事務局長 2017年6月着任（元経済産業省）

事務局長の神門です。メタ研通信第4号となってやっと出番が回ってまいりました。メタ研に着任してから早5年、古いほうから数えて前半組に入りました。これまで皆さん色々な話題を書いていただいておりますが、私は趣味のドライブに関する話を少々。

私が本格的にドライブを趣味にするようになったのは2001年から2004年の北海道経済産業局勤務時代となります。独身ですと土日は時間が十分にあるので道内色々回ってみようと中古のパジェロを10月に購入し、道内道の駅スタンプラリー（各駅でスタンプを押し、集めた数で景品がもらえる）を目的に土曜の日の出から日曜夜まで走り回りました。北海道の夏場は特に朝が早い（日の出が4時前）なのでホテルに泊まると時間がもったいない、ともっぱら車中泊の旅でした。その年は当時78あった道の駅すべてを回り、スタンプラリーも抽選で地場名産品詰め合わせを頂いたのが良い思い出です。

翌年道の駅回り2周目を始めるとともに、折角だから本州方面にも回ってみたいと思うようになったところ、当時の高橋局長（その後北海道知事）から「最近LPガス関連の事故が多いけれど大丈夫？」との話（当時の私のポストは資源環境部長という石油や鉱山を担当）を受けて、「では安全祈願してきます」と答えたのですが、LPガスの神様を局内で聞いても誰も知らない、ということで、では「伊勢神宮なら何でもOKのはず、ついでに鉱山関連で大山祇神社も参拝しよう」と訪問先を決定した上で、四国まで行くなれば九州も、となって本土最南端の佐多岬まで回ることとなりました。

ゴールデンウィークを利用して9泊10日のうち、まあ走れるだけ走りつつ、何とか帰ってこれるだろうと大雑把な計画で、まずは札幌から函館まで走りなれた国道5号線（301km）を南下、深夜函館発のフェリーで早朝青森上陸、最初に感じたのは「寒い」。北海道はゴールデンウィークでも雪が普通に降りますが、北東北も負けずと寒かったです。さて、そこから国道7号線（585km）を南下、初日の目標の弥彦神社（石油の神様）に午後到着、参拝してから更に進んで国道8号線（593km）に入り、初日は富山の道の駅で車中泊。2日目、日の出に合わせて出発し、国道9号線（770km）に移りながら菜の花畑等道道の自然を堪能しつつ出雲大社近くの玉造温泉目指して向かい、島根県内の道の駅で車中泊。3日目は早朝営業の日帰り温泉で身を清め、出雲大社参拝。なお私のご先祖は島根県出身とのことで、出雲大社近くに「神門町」というところもあります。大社のしめ縄に感動しつつ、次の目的地である九州目指して西進し、福岡に入ったところで車中泊。4日目、本土最南端佐多岬目指して国道10号線を南下、日が出ている間に到着できてこれで折り返し点到達です。5日目、このあたりから高速道路をメインにしつつ国道3号線（519km）も走りながら北上し、山口県の道の駅で車中泊。6日目、国道2号線（67

2 km) と高速道路を併用しつつ、尾道からしまなみ海道に入って大山祇神社に到着、非鉄各社の奉納品をみて「やはり鉱山の神様だ」と思いを深めつつ、北海道鉱山保安の祈祷を行っていただきました。参拝後、四国に渡って道後温泉につかり、足摺岬近くまで移動して車中泊。7日目、天気が悪くなったため移動に重点を置いて室戸岬を經由しながら明石海峡大橋渡って和歌山まで移動して車中泊。8日目、最後の目的地の伊勢神宮に到着。神社の広さに驚きつつ、ここでも北海道 LP/鉱山保安の神楽殿で祈祷を挙げて頂いたのは良い経験でした。

これで目的を果たした事もあり、残りの日数から高速道路主体で実家の東京で一泊した後青森兼八戸からフェリーに乗って北海道に帰りました。そのときの経験で、ゴールデンウィークでも観光地以外であれば思っていたより道が空いていたこともあり、本州も結構回れると知って、翌年お札を返しに行くとの名目の元、2 回目の日本一周を行い、47 都道府県通 46 都道府県を走れたことも良い思い出となりました。また、一桁国道も全線ではありませんが回れました。次の目標は全国道の駅制覇(北海道、東北、関東、中部はほぼ完了)としていますがこちらは年のせいもあり移動距離を減らしつつのんびり回っていこうと思います。